

12月26日に、地域の小・中学校の先生方を対象に、第3回学習会を開催しました。学習会の内容と、ご参加いただいた先生方のアンケートを一部ご紹介します。

第3回学習会

テーマ：『こんなときどうする？ 通常の学級&特別支援学級における指導・支援

～指導・支援の引き出しを増やそう～』

講義担当：本校副校長、特別支援教育コーディネーター

今回の学習会は、冬季休業中を利用して、1時間30分の拡大バージョンで開催しました。

日々の指導で「なぜ」「どうしたら…」と悩むことも多いかと思います。今回は、グループに分かれ、それぞれで事例を出していただきました。指導・支援の最適化を目指して、アイデアを活発に出し合い、学びを深め合うことができました。指導・支援を検討する際は、ケースに応じて、背景要因をしっかりと捉えることが重要です。今回の学習会では、その背景要因についても様々な視点で考えることができました。

グループ協議の後は、本校大町江里副校長がミニ講話を行いました。事例検討の総括とともに、集団のどんなところに目を向けて指導していくかということや、定型発達について理解を深めることで、特性についても理解が深まることなどを話しました。

今回もたくさんの先生方にご参加いただきました。ありがとうございました。

【内容】

- ・アイスブレイク
- ・事例検討
- ・はなしあったことの共有
- ・副校長よりミニ講話



【学習会後のアンケートから ～一部をご紹介します～】

- ・自分の困っている状況を聞いていただき、背景要因や取り組みなど、たくさんの視点から意見をいただけて、1月から生かしていきたいと思いました。(小学校)
- ・自校のことだからこそ自校内で相談することが難しいことがあり、今回一緒に考えていただけたことがありがたかったです。通級の先生方を中心にたくさんアドバイスをいただき、とても助かりました。(中学校)

来年度も地域の小・中学校の先生方を対象に、年に3回程度学習会を開催する予定です。特別支援教育の理解を深めるとともに、他校の先生方と交流を深めたり、助言をいただいたりできる機会にもなると思います。たくさんのご参加をお待ちしております。

加えて、地域支援部では、指導・支援に関する相談のほか、進路や教育支援計画に関する相談や情報提供などにも対応しております。知りたいこと、尋ねたいことなどありましたら、地域支援部の電話相談などご活用ください。

